

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-1-(3)
事業名	家庭教育推進事業		

■基礎情報

目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	・ 家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。	・ 青少年問題協議会 ※会議（年1回） 啓発活動（年1回）	
現在における経過又は課題	昨今の社会構造の変化に伴う子育て家庭の孤立等の要因により、家庭内での問題が取り上げられている。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。 今後の課題点として、父親と子どもが参加できる事業を昨年度に引き続き検討が必要と考えている。 また、青少年を取り巻く状況については、青少年問題協議会を年1回開催し、町内ショッピングセンター店舗にて啓発活動を実施している。		
令和6年度の目標又は改善策	親子講座や親子がふれあいながら、ともに学習できる機会の提供など充実を図る。教室に参加した方にアンケートを実施しながら、新たなニーズをつかんでいく。事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にする。 令和5年度において、日間賀島自然体験教室が観光協会との地引網体験ができなかったため実施を見送った。観光協会と連携を図りながら、事業の実施を図っていきたいと考える。 また、子どもたちに町内企業を知ってもらい興味を持つことができるきっかけづくりを考えていきたい。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 1 章	次代を担う子ども・若者の育成				
		基本政策	第 3 節	青少年の育成				
成 果 指 標	家庭教育指導など青少年の健全育成への満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	63. 6%	65. 1%	66. 0%	—	—	—	—	70. 0%

成果指標	学校と地域や家庭との連携の満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	62.4%	65.6%	65.0%	—	—	—	—	68.0%

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	中高生等の居場所づくりの推進・啓発、青少年の社会活動への参加機会の創出を行う
R8年度	中高生等の居場所づくりの推進・啓発、青少年の社会活動への参加機会の創出を行う

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
7	青少年問題協議会の開催 日間賀島自然体験教室（日間賀島）
8	山村自然体験教室（阿智村）
11	親子ふれあい事業
12	ヤマザキマザック博物館
随時	家庭教育講座の受付及び開講

■目標又は改善策に対する取組内容

○家庭教育講座の受付及び事業展開

- ・「お天気の不思議」（１回 参加人数 ５１名）・「お天気の不思議２」（１回 参加人数 ４０名）
- ・ヤマザキマザック美術館へ行こう 特別展「布施知子 ORIGAMI-紙の鼓動-」を鑑賞しよう!!（１回 参加人数１０名）
- ・親子自然体験教室（日間賀島）（参加人数 １３組３８名）
- ・親子自然体験教室（阿智村）（参加人数 １２組３０名）

＜生涯学習のまちづくり実行委員会開催講座＞

- ・「浴衣の着付け教室」（１回 参加人数 ５名） ・「昆虫の標本づくり」（１回 参加人数 １０名）
- ・「ドローン操縦体験教室」（１回 参加人数 １２名）
- ・「動物と暮らす 動物から学ぶ」講座 「サルから学ぶ 心と脳①」（１回 参加人数 ８名）
- ・「動物と暮らす 動物から学ぶ」講座 「サルから学ぶ 心と脳①」（１回 参加人数 １１名）
- ・「動物と暮らす 動物から学ぶ」講座 「野良猫が拡散する遺伝病の話①」（１回 参加人数 １４名）
- ・「動物と暮らす 動物から学ぶ」講座 「野良猫が拡散する遺伝病の話②」（１回 参加人数 １２名）
- ・「手羽先骨格標本づくりにチャレンジしよう!」（１回 参加人数 ９名）
- ・「獣医師って①」講座（１回 参加人数 １４名）・「獣医師って②」講座（１回 参加人数 １９名）
- ・理科おもしろ実験講座
- 「巨大シャボン玉を作ろう!」（１回 参加人数２０人）
- 「いろいろなスライムを作ろう!」（１回 参加人数１２人）
- 「理科マジックを楽しもう!」（１回 参加人数１０人）
- 「回る回る! ブーメラン・くるくるコプター」（１回 参加人数９人）

○ふれあいまつり２０２４

- ・大口中学校ＰＴＡ 千本釣り（参加人数４００人）
- ・大口北小学校ＰＴＡ 親子かわいい台づくり（参加組数５４組）
- ・大口西小学校ＰＴＡ わなげにチャレンジ（参加人数７２０人）
- ・大口南小学校ＰＴＡ おかしすくいおもちゃすくい（参加人数４０３人）

○青少年問題協議会

青少年問題協議会で巡回パトロール実施（ヨシヅヤ、ＭＥＧＡドン・キホーテＵＮＹ、バロー）
中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布

■評価

- ・日間賀島の自然体験教室については、令和５年度は観光協会と調整がつかず、見送ったが、今年度は地引網から魚つかみを主とした体験に変更し、親子のふれあいができた。阿智村においては、令和５年度に引き続き（一社）阿智村全村博物館協会による親子自然体験教室を行い、間伐とスウェーデントーチを親子で体験し、親子のふれあいができた。またアンケートから「現地に行かないと体験できないことをしたい」というニーズがあり、今後の企画の検討の際には参考にしていきたい。
- ・青少年問題協議会においては、令和５年度に引き続き、会議において江南警察署による地域の状況を聞き、さらに近年の犯罪の手口についても聞き、令和６年８月２１日に巡回パトロールを行うことができた。
- ・ヤマザキマザック博物館を予定していたが、ヤマザキマザック美術館において、折り紙に関する特別企画展に合わせて事業を行い、町内企業を知ってもらうことに加え、身近な折り紙を通して芸術に触れてもらうことができた。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-1-(4)
事業名	生涯学習活動推進事業		

■基礎情報

目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	・文化振興（芸能文化事業） ・地域学校協働本部事業	・文化協会支援 ・二十歳の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・少年少女発明クラブ支援	
現在における経過又は課題	生涯学習活動については、大口町生涯学習基本構想に基づき、住民一人ひとりが生涯学習に取り組む機会が得られるよう、様々な事業を展開している。 文化協会及び各種団体については、コロナ禍で活動が縮小傾向となっているため、活動ができるように支援していく。 地域学校協働本部事業については、安定した運営を引き続き継続していけるよう、体制を維持していくことが必要である。		
令和6年度の目標又は改善策	開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校支援ボランティアとして協力ができるよう、地域学校協働本部は学校が困っていることを把握し、その問題に対応できる学校支援ボランティアを派遣できるように体制を整えていく。また、ボランティアから「こんな支援ができる」などの提案を聞きながら学校活動を支えていく。 文化協会及び各種団体については、令和5年度中に脱退する団体あったため、生涯学習講座と連携し、団体の魅力を引き出しながら、各団体の会員が増えるように進めていく。 少年少女発明クラブについては、子どもたちが理科に興味を持ち続けることができるように、引き続き体制の支援を図っていく。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成果 指標	学校支援地域本部事業ボランティア登録数							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	97 人	79 人	86 人	80 人	79 人	87 人	83 人	100 人

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	第8次総合計画（生涯学習活動推進事業）の見直し
R8年度	生涯学習基本構想の見直し

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 生涯学習のまちづくり事業委託契約 発明クラブなどと協働委託契約を締結
6	芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	二十歳の集いの実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	二十歳の集い開催
随時	リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

■目標又は改善策に対する取組内容

地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業や文化協会の事業において、各事業を実施した。

○地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業

ボランティア登録人数 83人（R7. 3月末）

・大口中学校（抜粋）

「ふれあい清掃」：生徒と一緒にプランター及び花壇の植替えや除草などを実施（延べ22回123人）

「図書館サポート」：推薦図書のポップ作り、本のカバー貼り、本の清掃などの作業を実施（延べ19日 132人）

「特別支援学級授業サポート」：ボランティアと学校との打合せ会により授業分担を決め実施（延べ174日 211人）

小学校支援

・大口南小学校 環境サポート（延べ21回233人）、図書館サポート（延べ16回58人）などを実施。

・大口北小学校 環境サポート（延べ33回229人）、図書館サポート（延べ35回207人）などを実施。

・大口西小学校 環境サポート（延べ14回66人）、図書館サポート（延べ12回85人）などを実施。

○文化協会支援

文化部、芸能部合わせて17団体、232人

事業実績（作品展・芸能発表会・教室・発表会） 74事業

○芸能文化事業

ほほえみコンサート（3回） なんでもマラソンコンサート（1回）

大人のピアノ発表会（1回） おおぐち合唱祭（1回）

○大口少年少女発明クラブ

大口少年少女発明クラブ 9回（6月から3月）22人参加

○二十歳の集い実行委員会支援

二十歳の集い参加者188人参加

○リフレッシュリゾート施設利用助成

助成額1,893,000円

（日間賀島186件 昼神温泉228件 共済36件 松江112件 遠野2件 南三陸2件
FDA利用78件）

■評価

- ・学校支援地域本部については、学校でのボランティア活動を大口町のホームページを用いてPRし、活動内容について、多くの人に知ってもらうことに努めた。学校からのボランティア活動の具体的な要望として、花壇の草抜、枝の剪定や倉庫の清掃活動などがあり、それらの要望に応えられるよう努めることができた。
ボランティア登録者が引き続き、今後も学校支援活動のやりがいとなるように支援を継続していく。
- ・文化協会においては、作品展と芸能発表会を文芸部と芸能部の垣根を超え、協会全体で企画から当日の運営まで行い、全体の一体感が高まった。また、下部団体については、一般向けに慰問施設や発表会の活動を行った。慰問施設や発表会の活動は、令和6年度 74件で、令和5年度 54件から20件増加している。
会員数については令和5年度から14人減少した。引き続き会員数の増加に向けて文化協会通信や活動を通じてPRしていく。
- ・芸能文化事業においては、団体の協力により、ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、大人のピアノ発表会、おおぐち合唱祭を実施することができ、多くの方に音楽にふれあう場を提供できた。
- ・青少年発明クラブにおいて、町内企業技術者OBから専門的なモノづくりを教わることのできる場を提供できた。
- ・ダンス&ミュージックは、団体から参加者が他のイベントに出場する機会も多くなり、参加者が少なくなったため、開催に向けて検討を行ったが、開催は難しいという申し出があり、今後の実施は難しい結果となった。
- ・リフレッシュリゾート施設利用助成については、令和5年度から宿泊助成が7件増加している。またFDA利用助成については35件増加している。また令和6年度には新たに中央公民館の廊下にリフレッシュPR用のスペースを設け、各宿泊地域の観光に関するチラシを設置し、利用促進に努めた、引き続き、PRをしながら利用を促せればと考える。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-1-(5)
事業名	生涯学習講座事業		

■基礎情報

目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。	
事務内容	・ 定期講座 ※主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に随時1講座6回程度開催する。	・ 旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。 ・ 高齢者教室（さくら大学）
現在における経過又は課題	コロナ前は前期・後期に分けて様々な講座を企画している中で、講座による参加者の数にばらつきが発生していた。しかしながら、行政における講座の役割としてはきっかけづくりが主なものであるため、参加者数にとらわれない様々な講座の紹介としての役割を担えればと考えている。	
令和6年度の目標又は改善策	講座内容について、企画する上で、旬な講座も取り入れながら実践に役立つ講座や地域の住民が講師となり活躍できる講座の開設を中心に、参加人数にとらわれず、様々な方面から情報を模索し、きっかけづくりとなる講座を考える。 また、さくら大学については、憩いの四季と連携しながら、講習会を実施していく。 松江市提携講座については、例年来待石彫刻体験講座を実施しているが、ほかの松江市で行っている講座などを視野に入れながら、講座内容を検討する。	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成 果 指 標	生涯学習講座のメニューの数の満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	59.5%	63.3%	—	—	—	—	—	65.0%

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	住民ニーズに応じた生涯学習講座の開設及び講座から派生した地域活動などの支援を行う。
R8年度	住民ニーズに応じた生涯学習講座の開設及び講座から派生した地域活動などの支援を行う。

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
毎月 12	さくら大学 松江市提携講座
随時	生涯学習講座を受付及び受講を開始

■目標又は改善策に対する取組内容

- 「俳句をつくってみよう」講座（2回 参加人数 5人）
- 「写真入門」講座（6回 参加人数 6人）
- 「楽しいパステル画」講座（6回 参加人数 12人）
- 「俳句の世界をのぞいてみよう」講座（2回 参加人数 5人）
- 「ふれて、学んで、作って来待石博士になろう」（1回 参加人数 10組 22人）
- 「綺麗を実感 バレリーナと一緒に目指そう 美しい姿勢&所作」講座（3回 参加人数 13人）
- 「クラフトバンドってなあに?クラフトバンドでバッグを作ってみよう!!」講座（4回 参加人数 10人）
- 「ユネスコ無形文化遺産 伝統的酒造りを深掘り!!」講座（1回 参加人数 13人）
- 「落語から学ぶ「温かい笑い」とは」講座（1回 参加人数 25人）
- 高齢者教室～さくら大学～（12回、延べ参加人数240人）

■評価

- ・「俳句をつくってみよう」や「写真入門」、「楽しいパステル画」は、町内で活動する団体や町内在住の方に講師を依頼し、団体の活動普及や講師として活躍できる場の提供をした。
- ・大人向きの講座（「綺麗を実感バレリーナと一緒に目指そう 美しい姿勢&所作」、「クラフトバンドってなあに?クラフトバンドでバッグを作ってみよう!!」）を平日の夜の時間帯に実施し、働き世代にも受講できる機会の提供をした。
- ・「ユネスコ無形文化遺産 伝統的酒造りを深掘り!!」では、大口町のふるさと納税の返納品であるお酒（五条川桜）の酒蔵の杜氏さんに講義を依頼し、五条川桜ができた話など大口町の魅力を住民の方に知ってもらう機会を提供した。
- ・「ふれて、学んで、作って来待石博士になろう」では、令和5年度の彫刻体験から内容をより子どもたちにも親しんでもらえるようスノードームづくりと来待石のペンダントづくりに内容を変更した。松江市の来待ストーンミュージアムから講師に招き、大口町で松江市に触れるきっかけを提供した。
- ・生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方のもと、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに、幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会の提供をしていきたい。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-2-(3)
事業名	中央公民館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		
現在における経過又は課題	施設内の老朽箇所が散見されるため、随時対応していく。特に配管設備や電気設備について、急な不具合が発生する事案が度々あり、その都度修繕対応が必要である。 また、周辺の樹木の剪定・伐採など、外観美化に努めていく。		
令和6年度の目標又は改善策	随時発生する不具合において、その都度迅速に対応していく。また、光熱水費について、経済的な面、環境的な面から節制を心掛けていく。調理室のガスコンロが古くて点火しないものがあるためため、ガスコンロ機器の入れ替えを検討する。 工事において、令和5年中に生涯学習課事務所の空調が壊れたため、補正対応で取替工事を行った。同時期に更新した教育長室及び学校教育課事務室の空調があるため、取替工事を実施する。文化祭でC会議室において絵の展示をしているが、パネル設置は危ないため、中央公民館のピクチャーレール取付工事を行う。ネット環境を充実させるため2階及び3階の学習スペース、図書館の受付及び一般図書室にWi-Fiを増設する。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティ創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成果指標								
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値

■3年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。					
項 目（単位）	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	R8目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	施設の効率的な運用のため修繕を行う。光熱水費の節減を図る。
R8年度	施設の効率的な運用のため修繕を行う。光熱水費の節減を図る。

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
6	ガスコンロの購入
9	ピクチャーレール取付工事 Wi-Fi ネットワーク増設工事
11	2階空調機取替工事
	* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

4月	中央公民館南倉庫シャッター破損取替修繕	363,000円
8月	視聴覚室空調機修繕	93,500円
12月	中央公民館出入口フロアヒンジ取替修繕	429,000円
3月	中央公民館計測装置取替修繕	720,500円

工事

6月	2階事務室空調取替工事費	1,485,000円
9月	中央公民館ピクチャーレール取付工事	275,000円
11月	中央公民館2階通路掲示板設置工事	286,000円
3月	Wi-Fiネットワーク増設工事	836,000円

備品購入

調理室ガスコンロ	325,494円
----------	----------

■評価

- ・施設老朽化のため突発的な不具合や故障については、都度修繕しながら施設を維持した。
主な修繕については、出入口の油圧式のフロアヒンジが経年劣化による修繕、太陽光計測装置が故障していたため、取替修繕を行った。
- ・電気、ガスなどの光熱水費については、施設利用者の理解を得ながら節電に努めた。
- ・主な工事としては、昨年度に続き教育長室及び学校教育課事務室の空調機の取替工事、C会議室においてパネル設置ができるように、ピクチャーレール取付工事、中央公民館2階学習スペース及び研修視聴覚室、3階図書館、一般図書室・学習スペースに利用者にWi-Fiが使用できるよう増設工事を行った。
- ・2階調理室のガスコンロが老朽化していたため、ガスコンロ7台を備品購入した。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-2-(4)
事業名	町民会館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業		
現在における経過又は課題	開館からすでに30年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、平成30年度に大規模改修工事を行った。 令和2年度には2階ホールの舞台吊り物装置の一部を改修し、経年劣化による危険性に対して万全を期した。 調光盤やケーブルなどの舞台照明機器については、耐用年数の経過や経年劣化により機器更新の必要がある。 町民会館駐車場について、経年劣化により舗装面が傷んでいるため、改修工事の必要がある。		
令和6年度の目標又は改善策	施設の効果的な運用を図るとともに、修理箇所が発生した場合はその都度対応するなどして、適切な維持管理を実施していく。 自家発電が当初から利用しているため部品がなくなりつつある。経年劣化している箇所を中心に機器を継続して利用できるよう修繕を行っていく。 高齢者の方が発表することができる場でもあることから、入り口付近や階段を中心に手摺を付け、高齢者の方にも利用しやすくするため工事を行う。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成果指標								
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値

■3年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。					
項 目（単位）	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	R8目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	スポット照明などのLED化ため調光盤の入れ替え
R8年度	施設の効率的な運用の検証を行う

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
9	手摺取付工事 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

11月 町民ホール内空調機エアーフィルター交換 137,500円
2月 移動椅子ドライブリンクローラー修繕 415,800円

工事

11月 町民会館手摺取付工事 432,300円

■評価

- ・施設が建設から30年以上経過しており、老朽化のため突発的な不具合や故障については、都度修繕しながら施設を維持した。
主な修繕については、移動椅子ドライブリンクローラーの経年劣化による部品交換修繕を行った。
- ・工事としては、町民会館客溜の2階から3階への階段及び3階ホール入口階段への手摺取付を行い、利用者に利用しやすくするための工事を行った。また、来年度も継続して、1階会議室、ホールステージ側の1階から2階への階段手摺取付を行っていく。
- ・消防用自家発電設備については、大規模なものになるため、今後の課題となっている。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-4-(3)
事業名	文化財保護事業		

■基礎情報

目的	郷土に遺る貴重な文化遺産の保存及び活用に努め、次世代へ継承する。		
事務内容	・ 指定文化財の保存と活用 ・ 新規に指定可能な文化財の調査 ・ 町の歴史に係る調査及び研究	・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査 ・ 伝統芸能の普及と継承	
現在における経過又は課題	町内に遺る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある、郷土の歴史を物語る上で貴重な文化遺産について調査を行い、それらを保存及び活用することにより、町民に対して保護意識の醸成を図る。 各地区に伝わる伝統芸能について、近年継続が困難になりつつあり、その傾向はコロナ禍によってさらに拍車がかかってしまった。このため、伝統芸能を次世代へ継承し、発表の場を創出しなければならない。		
令和6年度の目標又は改善策	指定・未指定に関わらず、町内に遺る多種多様な文化遺産について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に還元する。 毎年4月及び10月に開催する伝統芸能発表会と、大口北小学校で実施している、各地区保存会と児童の交流会を開催する。特に秋の伝統芸能発表会は、令和5年度に新しい会場（多世代が集う憩い広場）で初めて開催した結果、利点・課題等が浮き彫りとなった。今年度は利点を活かしつつ、課題をできる限り改善して実施する。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成 果 指 標	所蔵資料点数							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	12, 387 点	12, 898 点	13, 471 点	13, 838 点	14, 159 点	14, 333 点	14, 817 点	13, 800 点

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	R8目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	令和6年度に開催した秋の伝統芸能発表会及びそれに付随したイベントの利点・反省点を活かし、イベント全体の精度を上げる。
R8年度	伝統芸能発表会とともに、地域のイベントとして内容を充実させる。

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
	●文化遺産の調査及び普及啓発活動 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。地元の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。 ●伝統芸能保存及び継承 金助桜まつりでの伝統芸能披露 伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の継続的な活動について検討。 多世代が集う憩い広場での伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会
4	
6	
10	

■目標又は改善策に対する取組内容

町内に遺る多様な文化遺産については、研究者や地元住民の協力を得つつ調査を進め、さらに現地解説及び資料館に展示している指定文化財の解説等、普及啓発活動を行った。

伝統芸能は、春及び秋の伝統芸能発表会を開催した。特に秋は、令和5年度より多世代が集う憩い広場で開催しており、今年度は大口町北地域自治組織が中心となり、多世代が集うまつり実行委員会を立ち上げ、会議を重ねて準備を進めた。

■評価

秋の伝統芸能発表会は、今年度より催事の運営組織として、大口町北地域自治組織を中心とする多世代が集うまつり実行委員会を立ち上げた。当日は伝統芸能発表会だけでなく、北地域で活躍する団体・個人のブース出展やもちつき体験等、令和5年度より参加する団体・個人が増え、併せて会場への来場者や伝統芸能発表会の観覧者が例年にも増して多かった。特に祖父母を伴う親子等、多世代で来場する方が多かったため、伝統芸能を次世代へ継承するという意味において非常に効果的であると感じた。しかし、参加団体数のさらなる増加等、令和5年度から引き続く課題に加え、今年度新しく来場者の導線を考慮に入れた会場レイアウトの課題もあり、様々な意見が反省点として挙がったため、次年度はそれらの課題が解消できるように改善していきたい。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-4-(4)
事業名	歴史民俗資料館運営事業		

■基礎情報

目的	先人の培ってきた過去のあゆみを現在に伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を行い、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受入れや資料貸出等により、学校教育に寄与する。	
事務内容	・ 年 4 回の企画展開催 ・ 資料館内の管理及び運営 ・ 展示解説及び展示物に係る調査研究 ・ 文化財収蔵庫の管理	・ 収蔵品の管理及び活用 ・ 小中学校等の見学受入れ ・ 博物館実習生の受入れ ・ 年報及び展示図録等の発行
現在における経過又は課題	年 4 回開催している企画展のうち、家族連れを対象とした毎年恒例の春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は、令和 5 年度は入館者が安心・安全に利用できる方法で開催した。夏・秋の企画展も含め、引き続き安心・安全を確保しつつ、より親しみやすい企画展を開催し、資料館に足を運んでいただく方法を検討しなければならない。 文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等が積極的に利用できるように努める。	
令和 6 年度の目標又は改善策	春及び冬の企画展は、安心・安全を確保した上で、より多くの入館者に足を運んでもらえるよう開催する。また、夏及び秋の企画展は、夏休み中の小中学生を対象とした内容や、町内の歴史に関するテーマを中心に開催する。 文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年 1 回の施設開放及び月 1 回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を実施し、教育及び福祉関係機関と連携を進める。	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成 果 指 標	所蔵資料点数							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	12, 387 点	12, 898 点	13, 471 点	13, 838 点	14, 159 点	14, 333 点	14, 817 点	13, 800 点

成果指標	入館者数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7目標値
	15,167人	9,528人	776人	1,506人	5,365人	7,470人	6,431人	20,000人

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	R8目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	コロナ禍前の状況と同水準のイベントを開催。
R8年度	コロナ禍直前の入館者数（概ね10,000人）に戻す。

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	春の企画展開催（6月上旬まで）
7	夏の企画展開催（9月上旬まで）
9	中学生職場体験受入れ
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれあいまつりでの文化財収蔵庫開放（計2日間）
1	冬の企画展開催（3月中旬まで） 毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出 小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し、文化財収蔵庫の団体見学受入れ及び収蔵品貸出

■目標又は改善策に対する取組内容

○資料館企画展

春の企画展「端午の節句」

会期：令和6年4月20日（土）～6月2日（日） 入館者数：1,096人

夏の企画展「空からみた おおぐち」

会期：令和6年7月20日（土）～9月1日（日） 入館者数：609人

秋の企画展「まちがひとつのチームになったとき～わかしゃち国体の軌跡～」

会期：令和6年10月26日（土）～12月8日（日） 入館者数：705人

冬の企画展「ひなまつり」

会期：令和7年1月25日（土）～3月9日（日） 入館者数：2,874人

○その他資料館活動

中学生職場体験受け入れ（令和6年9月4日（水）～6日（金））

博物館実習生受け入れ（令和6年9月4日（水）～8日（日））

文化財収蔵庫1日開放（令和6年11月2日（土）、3日（日））

「オレンジカフェ・大口」資料貸与（毎月第3木曜日）

■評価

今年度の企画展は、毎年恒例となる春の「端午の節句」及び冬の「ひなまつり」とともに、夏及び秋は大口町の現代をテーマに開催した。対象は夏が子ども、秋が大人と違っているが、昨年度刊行した『大口町史～現代史編～』の成果を活かした展示とした。入館者数はそこまで伸びていなかったが、現代におけるまちのあゆみを披露する場として有効に活用できた。

文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は引き続き実施することができ、次年度以降も教育及び福祉関係機関との連携を密にして推進していきたい。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-1-(3)
事業名	社会体育振興事業		

■基礎情報

目的	町民が暮らしの中に「スポーツ」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・愛知駅伝記録会 ・丹羽高等学校体育施設開放運営委員会	・地区別ソフトボール大会 ・町民体育祭 ・桜並木健康ジョギング ・スポーツ協会支援 ・スポーツ少年団支援	
現在における経過又は課題	若い世代から高齢者まで、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。 子ども向けのスポーツ事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大ロススポーツクラブと役割確認しながら、引き続き事業を継続していく。 イベントについては、継続していくため、その時々にあった内容を取り入れながら実施していく。 団体支援については、団体のみが参加する活動だけではなく、地域の人たちも参加できる形での地域貢献の場を設けていく必要がある。		
令和6年度の目標又は改善策	普段仕事や子育て等でなかなかスポーツにふれあう機会の少ない世代に対し、生涯スポーツのきっかけとなるようなアプローチを実施していく。 ニュースポーツ教室において、例年タグラクビー教室を行っていたが、令和5年度モルック体験教室を企画し、実施した。幼児から高齢者までできる教室であるため事業の継続を図る。 町民体育祭は令和5年度半日開催を計画したが、雨天のため中止になった。今年度についても各区長や実行委員の意見を聞きながら、半日開催ができないか検討する。 地区別ソフトボールについては、令和5年度女子チームの参加が1チームしかなかったため、参加方法を見直しながら検討する必要がある。 スポーツ協会及びスポーツ少年団については、自立した運営が図れるよう引き続き支援を行っていく。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	58.6%	54.6%	60.0%	—	—	—	—	70.0%

成果指標	町が主催したスポーツ大会・教室の参加人数							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	6,550 人	5,500 人	—	—	410 人	767 人	3,216 人	7,000 人

成果指標	スポーツ少年団指導者有資格者（指導者に対する割合）							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	36.0%	96.0%	71.4%	93.3%	97.0%	100.0%	100.0%	100.0%

成果指標	スポーツ施設利用者数							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	500,360 人	544,289 人	473,726 人	513,241 人	563,920 人	564,575 人	564,538 人	570,000 人

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	体を動かすきっかけづくりとなる生涯スポーツの啓発をする。スポーツを通じた交流・ネットワークの充実を図る
R8年度	体を動かすきっかけづくりとなる生涯スポーツの啓発をする。スポーツを通じた交流・ネットワークの充実を図る

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 4月区長会
5	町民体育祭実行委員会 愛知駅伝記録会（5月、6月、7月、9月）
6	6月区長会
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
2	桜並木健康ジョギング受付
3	桜並木健康ジョギング開催
	・スポーツ推進委員定例会は毎月1回開催

■ 目標又は改善策に対する取組内容

○講座・教室 モルック教室（1回 25人） ○スポーツ推進委員活動 委員会（委員会11回開催、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営） ○スポーツ大会開催 地区別ソフトボール大会（9月8日、15日開催） 地区別対抗グラウンドゴルフ大会（11月23日開催） 参加チーム19チーム 町民体育祭（半日開催 プログラム参加者総数2,460人） 愛知万博メモリアル第17回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（20人参加） 桜並木健康ジョギング（参加者数403人：5km102人、3km192人、1.8km109人参加） ○スポーツ協会・スポーツ少年団事業 スポーツ協会（9団体） 春季町民総合体育大会 第50回扶桑町・大口町親善体育大会 秋季町民総合体育大会 グラウンドゴルフ大会などを実施 スポーツ少年団（4団体） 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会 体カテスト 交流会 愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施
--

■評価

- ・スポーツ推進委員活動について、モルック体験教室を実施した。モルック体験教室では、年齢問わず参加でき、ルールもわかりやすいため、小さな子どもから高齢者まで多世代の参加があった。他の市町村でも注目を集めているスポーツであるため、継続を考える。
- ・町民体育祭については、コロナ禍と令和5年度は雨天中止のため、令和元年以来5年ぶりに半日にて開催した。
令和7年度どのように実施していくか実行委員会で再度検討し、地区の交流ができる場を残していきたい。
- ・地区別ソフトボール大会及び地区別グラウンドゴルフ大会については、令和4年度までコロナ禍で実施を中止していたが、令和5年度から参加チームを制限し、区の協力を得ながら実施することができた。地区別ソフトボールの女子の部については、1チームのみの申込にとどまり、実施することができなかったため、令和7年度の課題となる。
- ・スポーツ協会及びスポーツ少年団の運営については、各団との連携を密にとり、円滑な事業となるよう尽力した。今後も各団の自主自立による運営のため、助言などを行っていく。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-2-(3)
事業名	温水プール管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	・指定管理者による施設の確認 ・指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。		
現在における経過又は課題	施設の管理運営は平成22年度から指定管理者に委ねられており、引き続き令和2年度から令和6年度まで5年間の指定管理協定をウィル大口スポーツクラブと締結している。 施設自体は、開場からすでに40年以上が経過しており、随時修繕等を実施していく必要がある。 令和3年8月にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、大口町総合運動場は「オークマ温水プール」と命名された。契約期間は令和3年10月1日から令和8年9月30日の5年間である。		
令和6年度の目標又は改善策	施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、指定管理者との連携を密にするため、定期的な連絡会議を引き続き実施していく。また協議のうえ、施設な改修が必要な個所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。 令和6年度は指定管理者との契約5年目となるため、次期5年間の指定管理について検討していく必要がある。 プール施設が開場から40年以上経過していたため、設備や躯体などの調査を行い、その結果を踏まえて、今後の方針を検討していく。 備品購入については、コースロープが経年劣化しているため、新たに購入をする。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成 果 指 標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	58.6%	54.6%	60.0%	—	—	—	—	70.0%

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	温水プール施設調査に伴う方針に基づき計画を実施
R8年度	温水プール施設調査に伴う方針に基づき計画を実施

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	指定管理年度協定締結
7	温水プール施設調査実施 コースロープ購入 年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の報告を受けて、課題に取り組んでいく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・温水プールのネーミングライツ契約 550,000円（令和5年4月～令和6年3月分）
（契約期間 令和3年10月1日～令和8年9月30日 契約金額 2,750,000円）
愛称：オークマ温水プール 愛称の表示場所：プール施設（正面、東側）、案内板
- ・令和6年度は指定管理者との契約5年目となるため、次期5年間の指定管理について、募集・更新手続きを行った。
- ・温水プール老朽化に伴い、温水プールの長寿命化改修を行うための建物基礎調査を実施した。
大規模改修に長寿命化が見込めるとの調査結果を受け、温水プール改修基本計画を策定した。
- ・定期的に情報共有会議を実施
（指定管理施設の修繕計画や利用人数などの状況報告など）

■評価

- ・施設管理・運営について、指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に打合せを行い、情報共有しながら行うことができた。
- ・指定管理において、更新年度にあたり、指定管理の募集、更新手続きを行い、引き続きウィル大口スポーツクラブと5年間指定管理をお願いすることとなった。
- ・今年度、施設長寿命化改修を検討するため調査を実施し、大規模改修に向け、改修する部分、更新する設備などを整理し、建物全体に係る予算や工事工期などを検討し、施設の大規模改修をどのように実施していくかの基本計画を策定し、次年度以降も検討していく。
- ・プールのコースロープが経年劣化していたため、備品購入した。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-2-(4)
事業名	グラウンド等管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	・ 指定管理委託した施設の町負担分支払		
現在における経過又は課題	平成27年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。 令和2年度には、夜間のスポーツ施設の利用を可能にするため、わかしゃち国体記念運動公園に照明設備を設置した。また、総合グラウンドのゲートボール場1面を駐車場に改修し、周辺施設利用の際の駐車台数確保に努めた。 引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。 令和3年8月にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、大口町総合運動場は「オークマグラウンド」と命名された。契約期間は令和3年10月1日から令和8年9月30日の5年間である。		
令和6年度の目標又は改善策	管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。 施設の利用については、利用者が利用しやすいように、利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。 令和6年度はオークマグラウンド管理棟に漏水が見られるため、防水対策を講じる。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成 果 指 標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	58.6%	54.6%	60.0%	—	—	—	—	70.0%

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る
R8年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	指定管理者制度導入施設の年度協定締結
8	管理棟防水改修工事（施工方法再検討のため、取りやめ） 年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

工事

総合運動場北側トイレ改修工事 12,787,500円

総合運動場のネーミングライツ契約 600,000円（令和6年4月～令和7年3月分）
（契約期間 令和3年10月1日～令和8年9月30日 契約金額 3,000,000円）
愛称：オークマグラウンド 愛称の表示場所：正門、管理棟、A面スタンド、案内板

■評価

- ・温水プール同様、グラウンド管理についても指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に打合せを行い、情報共有をしながら施設運営することができた。
- ・工事において、管理棟防水改修工事の予算措置をしていたが、施工方法を再検討するため、9月に補正で予算を減額し、令和7年度当初予算に設計監理委託を計上した。

総合運動場北側トイレにおいては、利用者が多くなったことや、屋根からの雨漏り等があり、補正予算で建物の外壁塗装、トイレ改修及び屋根の防水措置、ガラスストップのコーキングを行うため、工事を実施した。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-2-(5)
事業名	野外活動施設管理事業		

■基礎情報

目的	市民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。		
事務内容	・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充	
現在における経過又は課題	地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。 開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。アスレチック施設については経年劣化が目立ってきており、毎年の遊具点検により使用の可否を見極めながら、また、遊具新設についても検討しながら施設運用を図っていく必要がある。		
令和6年度の目標又は改善策	施設の老朽化にしているため、修繕などで対応していくか、点検で撤去推奨判定の遊具については、撤去などの措置を行っていく。 日常管理を委託している地元の有志団体構成員の高齢化しているため、継続して管理ができるようサポートしながら実施していく。 今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。施設の利用については、利用者が怪我なく利用しやすい運営に努める。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	58.6%	54.6%	60.0%	—	—	—	—	70.0%

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る
R8年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

アスレチック遊具の安全点検を年1回実施した。
日常管理を委託している団体をお願いをし、施設内のトイレ清掃、草刈り、施設の開閉錠を請け負ってもらった。

修繕（主なもの）
今年度なし

■評価

- ・アスレチック遊具の定期点検を年1回実施しているが、複数の遊具で木の腐朽により、使用が危ない遊具については、使用禁止をし、次年度に撤去を行っていく。
- ・今後、遊具だけでなく樹木の管理についても検討していく必要がある。
- ・日常管理を委託している団体の構成員が高齢化しており、草刈り・落ち葉清掃の負担が大きい作業において、来年度以降、業者委託をお願いする方向で進めていきたい。
- ・施設全体のあり方について、敷地内の樹木管理やアスレチック遊具の管理、キャンプ場の利用も少ないことから、今後の課題として、施設の方向性を地元と検討していきたい。

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	-
事業名	歴史文化教育事業		

■基礎情報

目的	郷土「おおぐち」の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。		
事務内容	・ 保育園との連携事業 ・ 小中学校における郷土学習 ・ 地域自治組織との連携事業 ・ 町内各種団体との連携事業		
現在における経過又は課題	町内各種団体からの依頼で講演及び現地解説を実施すると、地域（家庭）において郷土の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している状況が窺える。 この課題を解決するため、様々な団体と連携し、老若男女問わず郷土の歴史、文化及び現在も遺る多様な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。		
令和6年度の目標又は改善策	各保育園及び各地域自治組織との連携、町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖 堀尾吉晴公」をはじめ、他学年においても郷土「おおぐち」をテーマとした授業を実施。機会があれば様々な団体と連携し、幅広く展開する。 また、小中学校の郷土学習での講話や資料提供等、可能な支援を提案し、重点的に連携を推進する。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系		基本目標	第 4 章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
		基本政策	第 1 節	生涯学習の推進				
成 果 指 標	出前講座・授業開催数							
	H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	R7 目標値
	20 件	44 件	30 件	36 件	39 件	42 件	44 件	65 件

■3年間の目標

目標						
項 目（単位）	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	前年度までの実績を振り返り、発達段階に応じた学習プログラムの検討及び実践
R8年度	実践した学習プログラムを振り返り、改善策を検討して実践

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
	北、西、南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」（年間3園合計で14回程度） 小学生を対象とした児童の発達段階に合わせた郷土学習（各学年で実施） 小学校6年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」（11月以降実施） 中学校2年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」（12月以降実施） 中地域自治組織歴史民俗部会にアドバイザーとして参加 南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 「おおぐち歴史ガイド」との連携事業 その他、まちづくり団体等、町内の様々な団体とともに連携し事業を展開

■目標又は改善策に対する取組内容

- 保育園連携「郷土を愛する心を育む活動」
 - 北保育園（入鹿切れ・小口城・織田街道）計４回
 - 西保育園（山姥物語・仁所野遺跡）計５回
 - 南保育園（裁断橋物語・汗かき地蔵（鑄鉄地蔵菩薩立像））計５回
- 小中学校連携
 - 小学校３年生「昔の道具」での見学・体験プログラム
 - 小学校３年生「まちたんけん」での現地解説
 - 小学校５年生「総合学習」における学習支援
 - 小学校６年生「郷土の偉人 堀尾吉晴公」 等
- 地域自治組織
 - 南地域自治組織：かわら版における「南地域のたからもの」連載
 - 北地域自治組織：地域の文化遺産に関する講座及び現地見学
 - 中地域自治組織：アドバイザーとして歴史民俗部会に参加

この他、町内で活躍する団体等からの依頼により地域の文化遺産を活かした連携及び助言を行う。

■評価

今年度は小中学校からの依頼が減少したが、小学校高学年対象の授業で依頼を受けた際、保育園を卒園した児童に話を聴くと保育園での活動のことを覚えていることが多く、活動で取り扱った文化遺産のことも把握していた。これは数字では明確に根拠を提示できないが、本事業に一定の効果があったことを示している。

次年度以降も引き続き、できうる限りの支援メニューを策定し、各団体との連携を深めていきたい。